

3月をもちまして、ひるま矯正歯科を退職することとなりました。私は高校卒業後、大学では歯科の基礎を学びました。その中で矯正歯科という分野に興味を持ち、その後、新潟大学大学院に進み矯正歯科分野に入局しました。新潟大学では厳しい先輩方の中で矯正歯科を思う存分学ぶことが出来ました。その中の一人である院長の康明先生に声をかけて頂き、ひるま矯正歯科に勤務することになりました。

私がひるま矯正歯科でお世話になろうと決めた大きな理由が二つあります。一つ目は矯正治療のテクニック。世の中には一言で矯正治療といってもいろいろなテクニックやたくさんの種類の装置があります。痛みが少なく早く治るといわれている方法や取り外しができ目立たない装置、響きは良いがかなりうさんくさい装置や方法などたくさんあります。そんな装置や方法による矯正治療のトラブルはいつか減る事はありません。そのような中で、ひるま矯正歯科では患者さん一人一人にあったワイヤーを一本一本曲げるスタンダードエッジワイズ法というテクニックで治療をおこなっているのです。患者さんの来院のたびにワイヤーを曲げなければいけないという手間と時間はかかってしましますが、やはりその分治療後の仕上がりはきれいです。私が新潟大学で教わり、一番いい方法だろうなあとと思っているテクニックで治療ができ、さらに磨きをかけることが出来るというのはかなりの決め手でした。

もう一つの理由は、ひるま矯正歯科では、他の矯正歯科医院ではまだまだ十分ではない予防システムが確立されており、また、院内に一般歯科の直末先生が常勤しているため、一般歯科との連携が密にとれることです。今後予防や一般歯

科との連携は矯正歯科医にはさらに必要とされてくることです。現在このようなシステムが確立された矯正歯科医院は日本中でも数軒あるか無いかだと思います。そのような環境で治療をしながらたくさんの新たな分野の勉強もできると思いました。

勤務期間中は予想通りいろんなことを学ぶことができました。その中のひとつにこの『ひるまだより』の「from データ」があります。もともと文章を書くことが苦手であることかと思っていましたが、何とか2年の連載を行うことが出来ました。自分で調べながら勉強し、題材を決め、文章を構成し、それを皆さんに伝える難しさと情報を発信していく大切さなど大変勉強になりました。皆さんが理解しやすい文章を書いたつもりですが…。

スタッフのみんなにも大変感謝しています。いつも診療室を清潔に保ち、診療しやすい環境を作り、サポートして頂きました。このような環境の中で勤務できたことを大変嬉しく思います。4年間という長いようで短い期間でしたが大変お世話になりました。

今後は岐阜県中津川市という山間の町で「まつばら矯正歯科」を開院することとなりました。この町はまだ矯正専門医がいないということで患者さんは近くの町まで行き矯正治療を受けるとのことでした。そのような地域な為、まだまだ矯正治療がひろまっているわけではありません。そこでひるま矯正歯科で学んだ、しっかりと患者さん一人一人に向き合って治療を行うことが大切であると考えています。皆さん、ありがとうございました。



晝間康明

松原大樹

まつばら矯正歯科
<http://www.kyousei-m.com>

第2期ひるま矯正歯科のスタートを支えてくれた松原大樹先生に感謝！———院長 晝間康明

ひるま矯正歯科は先代の院長である父により 1978 年に設立されました。2009 年に父は臨床の場から退き、衛生士学校で教鞭をとる事となり、私が院長を引き継ぎました。その際に矯正歯科医二人体制を維持するべく松原先生が常勤として勤務してくれました。

当時の私は、父という大きな支えがなくなり不安と緊張の中で診療を行っておりましたが、同じ医局出身で同じ診療哲学を持つ松原先生が勤務し、いつも支えてくれた事が心強く、ストレスを抱えずに診療を続ける事ができました。また、松原先生はスタッフからの信頼も厚く、いつでも気さくにスタッフの相談にも乗ってくれるお兄さんの存在で、ひるま矯正歯科の院内コミュニケーションにおける中心的な役割も担って来ていました。私の目の届かない所にも常に気配りをしてくれており、背が高いので大掃除の時に高いところまで目が行き届き私や他のスタッフでは届かない所を掃除してくれたり、高いところの荷物をとってくれる便利さも兼ね備えています。現在のひるま矯正歯

科があるのは松原先生のおかげと言っても過言ではなく「ありがとうございます」という言葉では言い表わせないくらい感謝しています。

そんな松原先生が、3月をもってひるま矯正歯科を卒業し、ご自身の医院「まつばら矯正歯科」を設立します。松原先生が開院される岐阜県中津川市は、立川に比べて人口も少なく矯正専門医院が他にないので当院の診療環境とは異なると思いますが、地域に密着した質の高い治療を提供する矯正歯科医院になると思われれます。松原先生が卒業される事は寂しいですが「まつばら矯正歯科」で活躍される松原院長の姿を想像するとワクワクします。これからは、同じ院長として相談に乗ったり乗られたりする良き友人であり同じ医局の後輩としてお付き合いしていきます。また、ひるま矯正歯科では布田花子先生が昨年より勤務を開始してくれていますので今後も矯正歯科医二人体制を継続し、質の高い治療を提供できます。

皆さん、「まつばら矯正歯科」をよろしく願います！